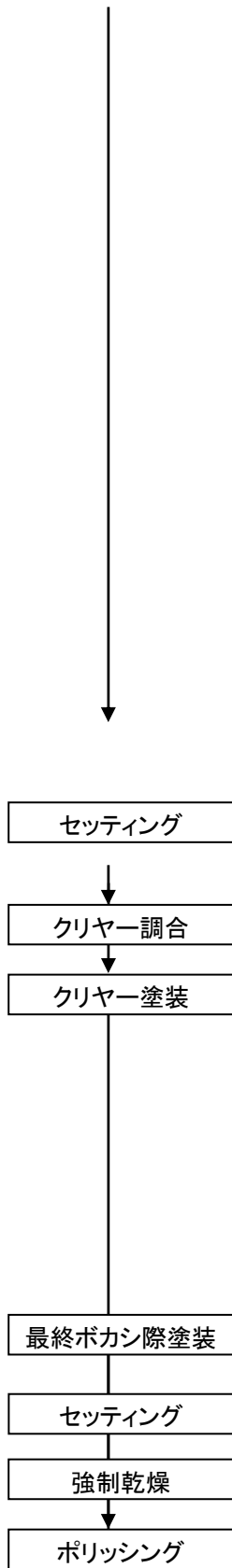


情報名:ミラノ 2K・M 小面積補修塗装仕様書 (シルバー系塗色)

補修塗装工程	作業内容	使用材料																																				
焼き付け塗膜の足付け	1.不具合部 水研ぎ P2000 2.クリヤーボカシ部・・・細目コンパウンドで若干、光沢が出る程度に目消し処理	P2000 耐水ペーパー コンパウンド ウエス																																				
マスキング	クリヤーのボカシ部分はリバースマスキング	マスキングテープ 養生紙																																				
脱脂・清掃	1.脱脂剤を含ませたウエスで拭き、濡れている間に乾いた清浄なウエスで拭き取る。 2.エアブローを行いながらタッククロス(*1)を用いて付着ゴミを除去 (*1 予め新品タッククロスをワックスオフライトに数秒間浸漬し、粘着剤を少し除去)	ワックスオフライト ウエス タッククロス																																				
アンダーコンディショナー塗装	1.カラーベースのボカシ塗装範囲より広めに、充分にツヤの出る様に塗装。 ワンパネル補修の場合、パネル全面に塗装しても良い 2.「アンダーコンディショナー使用の目的:仕様書参照」																																					
カラーベース塗装	リアクターの選定および調合は、仕様書に準じる。 調色比色板の作成は、ボデー塗装と同じ条件で塗装し、クリヤー仕上げ、乾燥後、比色  (A)補修面積が 10×10cm~20×20cm の様な小面積 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>色決め</th> <th>ムラ取り・ボカシ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吐出量</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>エア一圧</td> <td>0.08 MPa</td> <td>0.04 MPa</td> </tr> <tr> <td>ガン距離</td> <td>5~10cm</td> <td>15~20cm</td> </tr> <tr> <td>パターン重ね</td> <td>6/7</td> <td>6/7</td> </tr> <tr> <td>塗り回数</td> <td>完全隠蔽まで</td> <td>2~3回</td> </tr> </tbody> </table> (B)上記以上の大きな補修面積の場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>色決め</th> <th>ムラ取り・ボカシ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吐出量</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>エア一圧</td> <td>0.1 MPa</td> <td>0.05 MPa</td> </tr> <tr> <td>ガン距離</td> <td>10cm</td> <td>20cm</td> </tr> <tr> <td>パターン重ね</td> <td>6/7</td> <td>6/7</td> </tr> <tr> <td>塗り回数</td> <td>完全隠蔽まで</td> <td>2~3回</td> </tr> </tbody> </table>		色決め	ムラ取り・ボカシ	吐出量	4	4	エア一圧	0.08 MPa	0.04 MPa	ガン距離	5~10cm	15~20cm	パターン重ね	6/7	6/7	塗り回数	完全隠蔽まで	2~3回		色決め	ムラ取り・ボカシ	吐出量	5	5	エア一圧	0.1 MPa	0.05 MPa	ガン距離	10cm	20cm	パターン重ね	6/7	6/7	塗り回数	完全隠蔽まで	2~3回	[可使時間] 15 時間(20℃以下) 8 時間(20~35℃以下)  パック530-8 スプレーガン条件設定
	色決め	ムラ取り・ボカシ																																				
吐出量	4	4																																				
エア一圧	0.08 MPa	0.04 MPa																																				
ガン距離	5~10cm	15~20cm																																				
パターン重ね	6/7	6/7																																				
塗り回数	完全隠蔽まで	2~3回																																				
	色決め	ムラ取り・ボカシ																																				
吐出量	5	5																																				
エア一圧	0.1 MPa	0.05 MPa																																				
ガン距離	10cm	20cm																																				
パターン重ね	6/7	6/7																																				
塗り回数	完全隠蔽まで	2~3回																																				

補修塗装工程



作	業	内	容	使	用	材	料
		<p>(A)補修面積が 10×10cm～20×20cm の様な小面積 カラーベースは捨て塗りから「ムラを出さない様、色決めとムラ消し塗装の中間の感じの塗装」を行う。</p> <p>(B)上記以上の大きな補修面積の場合は カラーベースの 1 回目の捨て吹きは薄く透ける程度に 塗装する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 回目以降の色決めはミストを充分になじませるよう 塗装を行い、均一にツヤが出るように塗装する。</li> <li>・均一にツヤがひけてくるまで塗装間隔をとり、塗り重 ねていく。</li> <li>・この時、色ムラがなければムラ取り工程はいらない。</li> <li>・ムラ取りはパターン重ねを多くして、ツヤムラをつくら ない様に、なじませる感じで塗装する。(ツヤムラがあ るとクリヤー仕上げ塗装の時、ムラが消えていませ ん)</li> </ul>		<p>1 回目のカラーベースはボ カシ最終範囲まで捨て塗り カラーベースの 2 回目以降 は、その内側範囲内で行う</p> <p>1 回 1 回、運行ストローク幅 を少しずつずらしベースの 際を滑らかに塗装</p>			
		10 分(20℃)					
		各クリヤーの仕様書に準ずる。					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 回目の捨て吹きは均一に薄いフィルムになるように 塗装する。</li> <li>・2 回目以降は少し塗装間隔をとって、中間仕上げ、仕 上げ乾燥を行う</li> <li>・「調合ボカシ剤」をクリヤーのボカシ際を中心に段ボカ シ方法でミスト及びキワの肌を見ながら数回に分けて 行う。</li> </ul>					
		各クリヤーの仕様書に準ずる。					
		10 分(20℃)					
		各クリヤーの仕様書に準ずる。					
		ゴミ、垂れ、肌の調整					